

長野東高校演劇部 2009年ダイアリー

＊2009年4月 1年生5名入部 2年生7名の計12名でスタート

1年生が新たに5名入部し、総勢12名となりました。昨年の今頃を考えると信じられない状況です。

＊2009年7月 東雲祭：『七人の部長』上演

今年度は既成脚本の上演に決まりました。かつて全国大会で最優秀賞を受賞した越智優さん作の『七人の部長』です。昨年の会議室から第2体育館に進出。模擬店のにぎわいにまけじとがんばりました。実績のある優れた脚本ですが、実際に演じてみると、7人の役者が出ずっぱりで、暗転もなく、動きも少なく、むずかしい舞台でした。



＊2009年8月 北信大会(千曲市あんずホール)

『七人の部長』上演 金賞受賞 長野県大会出場決定

文化祭ではキャスト7人が横並びで観客に顔を向ける形で舞台が進行しましたが、地区大会では中央のテーブルを7人が取り囲む形にし、大道具の配置も斜めにしてみました。役者が客席に背中を向けてしゃべることもあり、声の届きなどでリスクはありましたが、生徒会室の雰囲気は高まった感じがしました。3年連続の県大会出場となりました。



＊2009年11月 長野県大会:(飯田市文化会館)

『七人の部長』上演 優良賞受賞

10月に入り猛威をふるい始めた新型インフルエンザが演劇部を直撃しました。まず1年生部員のいるクラスが学級閉鎖になったのをかわきりに、出場校打合せ会の翌日に部長が感染、2年生2クラスが学級閉鎖、1学年が学年閉鎖と相次ぎ、練習ができなくなってしまいました。さらにその影響で2学期期末テストが延期され、大会直前まで練習禁止となってしまいました。

幸い、感染していた部員たちも全快、学級閉鎖・学年閉鎖も解除され、部員全員で県大会に出場することができました(奇跡のようです)。

地区大会から3カ月、脚本も一部手直しし、太宰治の『走れメロス』にかかわる部分やアニメ部部長と剣道部部長の絡みの部分、「グッチ」のセーターの部分などに工夫を加えました。舞台美術も斜めの構造から平行に移しました。関東大会出場はなりませんでしたが、満足のいく舞台となりました。



* 2010年2月 長野市民演劇祭:『ぼくんち』上演(長野市女性会館しなのき)

昨年は参加を見送った長野市民演劇祭に久しぶりに参加しました。脚本は『ぼくんち』。昨年の県大会で上田東高校が上演した作品です。子どもの世界を描いている脚本で、学校の隣のアピック杉の子保育園に出かけて行って子どもたちと遊ばせてもらい、動きを研究しました。タイヤの遊具やドラム缶、砂場など大道具も工夫しました。

